

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和7年10月21日（水） 13:00～15:00
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 校長室
- 4 参加者

会 長	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会 事務局員
副会長	河野 隆	はなぞの北幼稚園 園長
委 員	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部 教授 (欠席)
	前田 吉彦	岐阜北ロータリークラブ
	林 政明	三田洞地区自治会長
	中村 有希	ファッションデザイナー
	長屋 結子	保護者会役員
学 校 側	和田 摂子	校長
	柴田 幸美	教頭
	棚橋 英一	教頭
	高井 和子	事務長
	車戸 祐介	教務主任
	福島 和世	生徒指導部長
	井口 貢志	進路指導部長
	亀山 貴美子	城北推進部長
	矢野 善樹	総合学科長
	坂 美里	生活デザイン科長

### 5 会議の概要（協議事項）

- (1) 地域連携、教育活動（学科の取り組みについて）
- (2) 学校評価アンケート（生徒及び保護者等を対象）結果について
- (3) 夏の高校見学会アンケート結果について
- (4) 意見

意見1：文化祭で生徒が活躍している姿を見て、コロナ禍で活動できなかった時期を思うと感慨深い。若い力はいろんな挑戦の機会で発揮される。総合学科は未来を見つける場として重要。アンケートは対応が難しいが、メール等で細かく情報発信している点は保護者に伝わって良い。研究指定を受けて取り組んでいる姿勢は素晴らしい。「エージェンシー」を大切にしてほしい。

意見2：文化祭でインターアクトクラブの活動を紹介してもらい感謝。ロータリークラブに報告をしたい。ロータリークラブが援助する韓国派遣は、希望するすべての生徒を派遣することは費用面で難しいが、このような機会を作っていただけるとありがたい。

アンケートは数値が上がった下がっただけの評価ではなく、常に低い項目に注目し、改善を行ってほしい。

岐阜城北高校は最先端のカリキュラムで多様な学びを提供しており、こうした学校が増えることを期待している。

若者に「自由と義務のバランス」を教える教育が必要である。先生方の努力に期待したい。

意見3：アンケートで「わからない」という回答に注目すると保護者は約20%、生徒は約10%である。特に「教育目標やスクールポリシーを知っている」で17.9%が「わからない」と答えており、自校のスクールポリシーが分からないということは問題ではないか。一方で、「授業は丁寧でわかりやすい」という項目は、「わからない」が2.4%と少なく、先生方の努力が伝わってくる。

教育目標をもっと浸透させる工夫が必要である（私の学生時代には生徒手帳があり、校則なども書かれていた）。学校の理念が生徒に確実に伝わってほしい。

意見4：生徒や保護者の意識は変化しており、偏差値だけでなく個性や将来を考えて学校を選ぶ時代である。保護者に相談して学校を決める割合が高いため、学校の魅力をしっかり発信することが重要だと考える。岐阜城北高校は幅広い教育を行っており、こうしたニーズに合っている。スクールポリシーの浸透とアピール強化をお願いしたい。

意見5：保護者会との協力体制がアンケートで低評価だったのは、制度変更の浸透不足が原因であると考えられる。保護者会へ持ち帰り改善を検討したい。文化祭では生徒の主体性が見え、良かった。地域の少子化が進んでおり、近隣学校との連携や地域密着型のPRが必要である。保護者にとって近い学校は負担軽減の面で魅力的なので、その強みをアピールすべきだと考える。

意見6：Co-Marketは地域に開かれたイベントとして好評である。去年は売り切れが多く、今年も楽しみにしている。今年はファッションショーや子ども向け企画を加え、パワーアップする予定であると聞いたので楽しみである。地域の方に楽しんでもらえる場にしたい。

## 6 会議のまとめ

- ・委員より学校の地域連携や生徒の主体的活動を高く評価されたが、今後の重点課題としてスクールポリシーの浸透、アンケート低評価の項目改善、情報発信や持続可能な仕組みづくりなどについて、様々な視点からのご意見をいただいた。改善が必要なところは速やかに対応し、今後の活動に活かしていきたい。
- ・第3回は令和8年2月に実施し、今年度の取組についての反省及び次年度に向けて意見、助言を得る予定である。